

外国語科学習指導案

府中町立府中緑ヶ丘中学校

1 学年 第1学年1組(男子 21名, 女子 18名 合計 39名)

2 単元名 Program 7 The Wonderful Ocean
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 (開隆堂)

3 単元について

○単元観

本単元は、シャチウォッチングに参加している由紀とマイクが、シャチやイルカの研究をしているガイドの笹森さんとのやりとりを通して、それらの生態や笹森さんの思いについて知るという内容である。言語材料としては、疑問詞 Who や When で始まる疑問文が扱われており、具体的な情報について読み取ったり、話題を整理しながら話の概要を捉えたりするのに適した教材である。また、代名詞の目的格が扱われており、つながりを意識しながら英文を読むことができる。本単元は、中学校学習指導要領1目標(3)話すこと[やり取り]ウ「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」を受けて設定したものである。また、本校の「CAN-DO リスト」の形で示した学習到達目標「話すこと[やり取り]」では、「身近な話題について、簡単な語や基礎的な表現を用いて自分の考えや感想を伝えることができる」としている。

したがって、本単元を通して、社会的な話題について書かれた英文を読み、その内容について、自分の考えや感想を伝え合う力を養う。

○生徒観

本学級の生徒は、生徒質問紙(1)、(2)より、英語の学習に対して意欲的に取り組む生徒が多い。学習内容に関しては、生徒質問紙(3)(4)より、様々な友達と関わって、英語でコミュニケーションを取る活動に対して、高い抵抗感を持っていることが分かる。しかし、生徒質問紙(5)より、多くの生徒が授業でのコミュニケーション活動に積極的に取り組み、会話を続けていくことに対して、少しずつ自信をつけてきている様子が伺える。

話す内容の正確さという点については、主語が抜けていたり、語順がバラバラであったりする場面が多く見られ、正しい文法を意識して話すことが出来ていない実態がある。

読むことに関しては、教科書本文を読む際、話の流れに沿って、段階を追いながら内容理解を図ることはできている。本単元で初めて、話の概要をとらえて読むことに取り組む。

〈生徒質問紙〉

	質問内容	肯定的評価	否定的評価
(1)	英語の学習は好きである。	81.6%	18.4%
(2)	英語の授業は分かる。	92.1%	7.9%
(3)	英語で会話をする時、自分の考えや気持ち等を英語で話そうとしている。	78.9%	21.1%
(4)	英語で会話をしたり、コミュニケーションをとることが好きである。	65.8%	34.2%
(5)	1学期に比べて、やりとりが長く続くようになった。	84.2%	15.8%

○指導観

本単元では、「笹森さんの言葉を読んで、自分の考えや感想について伝え合う」という言語活動を行う。言語活動を通して、話の概要をつかみ、それをテーマにして、お互いの考えを伝え合うための指導を行う。そのために、教科書に書かれた内容に加えて、どのような思いから本文の中でのやり取りが行われているのか、その言葉の背景にも思いを巡らせながら、英文を読ませる。合わせて、英文を読んで読んで得られた情報について、自分の考えや感想を簡単に伝え合えるように、実際の活動を通して必要な表現等の定着を図る。その際、定型の表現を提示することで、正しい語順を意識して話すことができるよう支援する。

単元末のパフォーマンステストとして、説明文とグラフから分かることをもとに、自分の考えや気持ちについて ALT とやり取りを行うという課題を設定しており、言語活動においては次のような流れで指導をしていく。

- ・単元の始めに、単元末のパフォーマンステストとして、写真と説明文を参考にして、分かることについて ALT とやり取りをするという課題があることを伝え、本単元で実施していく活動の目的をもたせる。
- ・本文を読む際に、日本語訳にとらわれず、自分の考えと比べながら内容を読み取っていく。
- ・Small Talk では、様々な種類の疑問詞を用いた質問を取り入れ、即興的にやり取りする場面を設定する。
- ・Small Talk を行うごとに振り返りを行い、言いたい表現を整理して提示するなどして、表現の幅を広げていく。
- ・良いモデルとなるやりとりの手本を示し、考えや感想を伝えるための工夫や効果的な問いについて考えさせる。
- ・考えを述べたりたずねたりしていく上で、活用頻度の高い表現を板書し、やり取りの手助けとする。

4 単元の目標

- ・間違いを恐れず、積極的にやり取りをしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・自分の考えや感想を伝え合うことができる。(外国語表現の能力)
- ・書かれた英文の概要を捉えることができる。(外国語理解の能力)
- ・疑問詞 Who, When を用いた疑問文の用法を理解している。(言語・文化についての知識・理解)
- ・代名詞の目的格の用法を理解する。(言語・文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
間違いを恐れず、積極的にやり取りをしようとしている。	自分の考えや感想を表現することができる。	書かれた英文の概要を捉えることができる。	①疑問詞 Who, When を用いた疑問文の用法を理解している。 ②代名詞目的格の用法を理解している。

6 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	ガイドの笹森さんの思いを読み取り、それについての感想や自分の考えについて伝え合う。
目指す発話例	<p>A: What do you think about Ms.Sasamori? B: I think she loves nature. A: What do you think about her story? B: I think she has a strong heart. A: I think so too. What can we do for nature? B: We can join the volunteer activity, and clean the river. A: That's a nice idea.</p>

7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

【小学校における指導方法・教材を踏まえた（活用した）指導の具体】 (1) 関連する言語材料		
We Can 1,2	We Can 1,2 → 中学校	中学校
〈We Can 1〉 Unit 2 When is your birthday?	疑問詞 when を使って誕生日や行事がいつなのかたずね合う。 ↓ 疑問詞 when を使っていつするのかたずねる。	Program 7 When do you usually clean your room? -On Saturday morning.
〈We Can 2〉 Unit 3 Who am I? Who is he?	疑問詞 who を使って人物あてクイズをする。 ↓ 疑問詞 who を使った質問に対して、説明を加えて答える。	Program7 Who's that woman? - She's Ms.Sasamori. Her group studies orcas, dolphins, and whales.

8 単元計画（全8時間中/8時間目）

時	目標（◆）・主なやり取り等	評価規準・ 評価方法
1	「教科書の内容について読み取り、考えや感想を伝え合う」という言語活動の見通しを持つ。	
2	<p>◆疑問詞 who の用法を理解し、誰なのかをたずねたり、その人のことについて質問をすることができる。</p> <p>・教科書本文のやり取りから、疑問詞 who の用法を理解する。</p> <p>A: Who is she? B: She is Ms.Sasamori. She is a dolphin watching guide. A: How old is she? B: She is 55 years old.</p>	エ①（ワークシート）
3	<p>◆ガイドの笹森さんについて読み、どんな人だと思うか、自分の考えを伝え合う。</p> <p>・笹森さんについて書いてある英文を読み、どんな人なのか自分の考えを持たせる。</p> <p>A: What do you think about Ms.Sasamori?</p>	ア（活動の観察） イ（後日パフ

	<p>B: I think she loves animals. A: I see. I think she is kind.</p>	<p>オーマンステ スト)</p>
4	<p>◆代名詞目的格の用法を理解し、シャチの生態について読む。 ・教科書本文から、代名詞目的格の用法を理解する。 ・概要をつかみながら、本文を読む。</p>	<p>ウ (ワークシ ート) エ② (ワーク シート)</p>
5	<p>◆読んだ英文についての感想や、印象に残ったことについて、伝え合う。</p> <p>A: How was it? B: It was interesting. A: Why? B: Because Nick has a family. A: I see. He is swimming with his baby.</p>	<p>ア (活動の観 察) イ (後日パフ ォーマンステ スト)</p>
6	<p>◆疑問詞 when の入った会話文の内容を理解し、イルカの生態について読む。 ・教科書本文を通して、疑問詞 when の用法を理解する。 ・概要をつかみながら、本文を読む。</p>	<p>ウ (ワークシ ート) エ① (ワーク シート)</p>
7	<p>◆イルカウォッチングをする時のルール、笹森さんについて書かれた文章を読み、概要をつかむ。 ・3つのルールとそれに関する補足説明を読み、意見を伝え合いながら、マッチングさせる。 ・笹森さんの生き方について、自分の考えを持つ。</p> <p>A: What do you think? B: I think this is for Rule No.1. A: I think so too. Because "lives" means "命".</p>	<p>ア (活動の観 察) ウ (後日テス ト)</p>
8 本 時	<p>◆笹森さんがどのような思いでガイドの仕事をしているのか、笹森さんの問いかけにどう答えるか、自分の考えを伝え合う。 ・前時の内容を Q and A を通して振り返る。 ・ペアで互いの考えを述べ合う。</p> <p>A: What do you think about Ms.Sasamori? B: I think she loves nature. A: What do you think about her story? B: I think she has a strong heart. A: I think so too. What can we do for nature? B: We can join the volunteer activity, and clean the river. A: That's a nice idea.</p>	<p>ア (活動の観 察) イ (活動の観 察)</p>
後 日	<p>◆パフォーマンステスト 説明文とグラフから分かることをもとに、自分の考えや気持ちについて ALT とやり取りを行う。</p> <p>◆ペーパーテスト まとまりのある英文を読んで、概要をつかむ。</p>	<p>イ (インタビ ューテスト) ウ (リーディ ングテスト)</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ 笹森さんの物語について、感想や自分の考えについて伝え合う。

(2) 本時の評価規準

- ・ 間違いを恐れず、積極的にやり取りをしようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ 自分の考えや感想を伝え合うことができる。(外国語表現の能力)

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10	<p>○warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日, 日付, 天気, 時間を生徒同士で応答する。 <p>○Small Talk</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Let's talk about school lunch. B: OK.What menu do you like? A: I like ramen. How about you? B: I like curry. A: How was today's lunch? B: It was good. I think lunch time is happy time.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話題をふくらませるための質問を入れていくよう声をかける。 	
35	<p>○学習課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Today's Goal: 笹森さんの物語について、感想や自分の考えについて伝え合う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいを確認する。 <p>○復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笹森さんの物語の内容を Q and A を通して振り返る。 <p>○Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印象に残ったことについて伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 笹森さんの問いに対する自分の答え 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹森さんが海や海洋生物に対して、どのような思いを持っているのか確認する。 ・ 笹森さんがガイドの仕事をはじめたきっかけや、どのような思いで海の生き物と関わっているのかについて考えさせる。 ・ 理由も一緒に考えさせ、笹森さんの思いにせまる。 ・ 感想等も入れてやり取りを行う。 	<p>ア (活動の観察) イ (後日パフォーマンステスト)</p>

	を伝え合う。 ・ペアを変えて、交流をしていく。		
5	○まとめ ・振り返りカードに記入する。		

10 板書計画

<p>sunny, Wednesday, February 6th, Today's Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>笹森さんの物語について、感想や自分の考えについて伝え合う。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> <p>笹森さんの PC</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>笹森さんの紹介文</p> </div>	<p>相手の考えをたずねる言い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What do you think? ・ What is the impressive word? ・ What can we do? <p>自分の考えを伝える言い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I like ... ・ I think ... ・ I think we can ... 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 3 4 5 6 7 8 </div>
---	--	--	--

11 パフォーマンステスト評価規準

評価の観点	外国語表現の能力
A	<p>読み取った内容を基に、理由を示しながら自分の考えを伝えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: 13 percent students go to bed after 12:00. B: What do you think? A: I think they go to bed too late. They should go to bed before 12:00, because we have classes and club activity every day. We need sleeping hours.</p> </div>
B	<p>読み取った内容に関して、自分の考えを伝えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: 13 percent students go to bed after 12:00. B: What do you think? A: I think some students go to bed very late. They should go to bed before 12:00. They should change their life.</p> </div>
C	読み取った内容に関して、自分の考えを伝えることができていない。